

『北海道e-水（イーミズ）プロジェクト』

北海道コカ・コーラボトリング（株）と道のパートナーシップ協定による取組

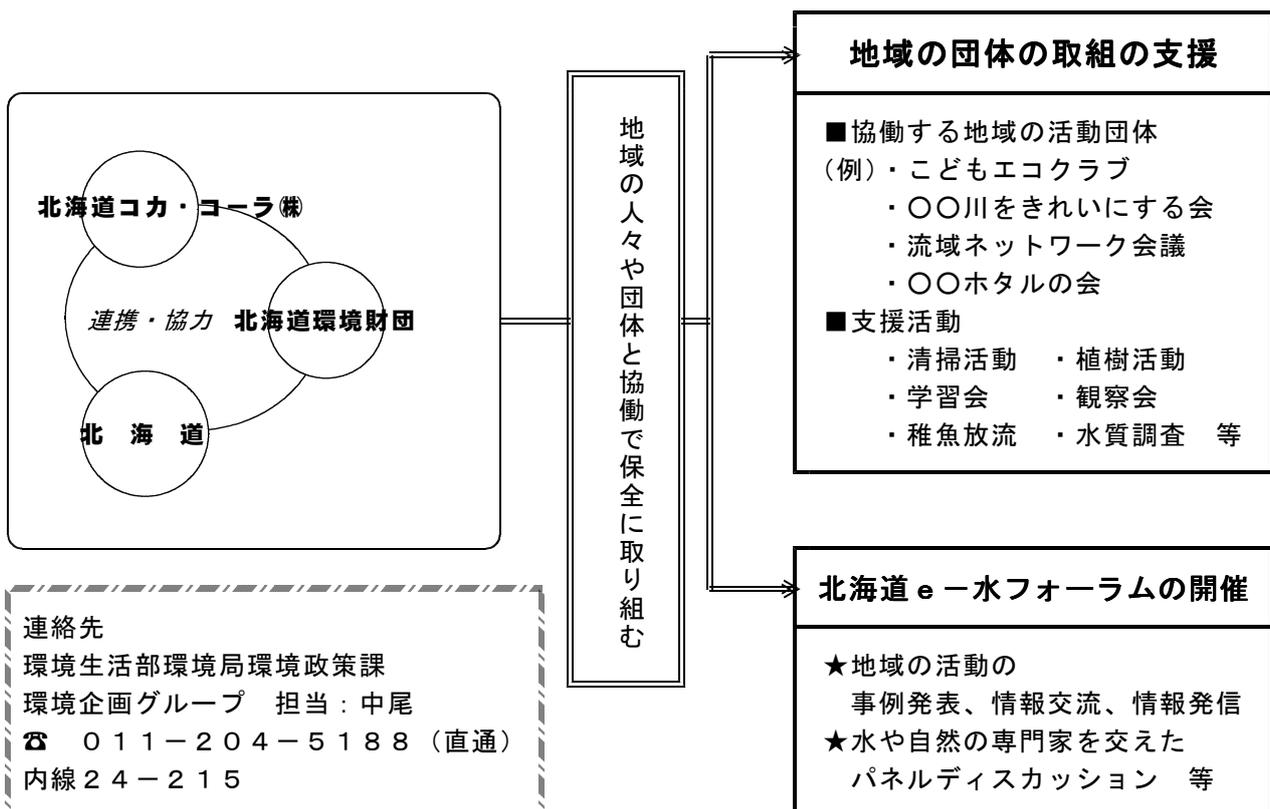
北海道コカ・コーラボトリング（株）から、コーヒー飲料の売上げの一部を北海道の環境保全に役立てたいとの趣旨の事業提案を受けて、この度、道は同社と協働で北海道の豊かな水と自然を守る事業「北海道e-水（イーミズ）プロジェクト」に取り組むこととして、11月20日に「環境保全に関するパートナーシップ協定」を締結しました。

北海道e-水（イーミズ）プロジェクトとは

- 21世紀は水の世紀とも言われています。本道には豊かな水資源とそれを取り巻く美しい自然があります。
- この北海道の恵まれた水とそれを含む自然環境を道民全体で保全し、未来に引き継いでいくため、道民、事業者、行政の協働のもとで地域における水環境の保全活動に取り組む事業が「北海道e-水（イーミズ）プロジェクト」です。
- この事業では、同社が道内で限定販売するコーヒー飲料「ジョージアサントスプレミアム北海道デザイン缶」の売上の一部の寄附を受け、それを活用して道と（財）北海道環境財団の連携のもと、道内の各地域（水辺）において環境保全活動に取り組む団体と協働して、水辺の観察会や清掃活動などに取り組むとともに、活動の輪を広げるため地域の活動の取組の情報発信の場として「北海道e-水フォーラム」を開催します。

（* エコロジーをイメージする「e」と「きれいな水」というイメージを重ね合わせ、「e-水（イーミズ）プロジェクト」と名付けました。）

【北海道e-水プロジェクトの概要】





報道関係各位

北海道と協働で 北海道の豊かな水と自然を守る事業をスタート！

— 北海道e-水（イーミズ）プロジェクト —

2009年11月20日

北海道コカ・コーラボトリング株式会社

北海道コカ・コーラボトリング株式会社（本社：札幌市清田区 社長：角野中原）は、本日、北海道との間で環境保全に関する具体的な企画立案、並びに活動に取り組むパートナーシップ協定を締結しました。この協定に基づく第一弾として、2009年12月より、北海道の環境保護活動を継続的に推進するために、北海道の豊かで美しい「水」を中心とした自然環境を守り、次世代へと引き継いでいくプロジェクト「北海道e-水（イーミズ）プロジェクト」を北海道と協働で取り組むことといたしました。

これまで当社は、道民の皆様の環境保護の意識の向上のために役立てていただきたいとの趣旨で、2007年から北海道限定製品「ジョージアサントスプレミアム北海道限定デザイン缶」の売上金の一部を販売数に応じて、北海道に寄付して参りました。今回、北海道環境財団を加えた三者で連携・協力し、北海道との協働事業として発展させ、環境保全に対する具体的な活動を行ってまいります。

【協定概要】

(1) (財)北海道環境財団への寄附金の支援

北海道で製造販売（北海道限定）する「ジョージア サントスプレミアム 北海道限定デザイン缶」の売上げ1ケース（190g缶30本入り）当たり15円を販売数量に応じて寄附する。

(2) 寄附金の対象とする期間

平成21年12月1日から1年単位で継続する。

(3) 事業内容

「北海道e-水（イーミズ）プロジェクト」

①目的：北海道内の河川・海域・湖沼などにおいて、水と水を中心とした生態系を守る活動に取り組んでいる団体、又は組織への支援を通じて、その保全活動の充実・水環境の保全とともに、水を取り巻く生物多様性の保全につなげる。

②事業概要（案）：

・北海道内で水を中心とした環境保全活動を行っている（又は行おうとしている）団体を対象とした北海道環境財団と連携・協力のもと、環境保全活動等を支援。

<参考資料：当社の主な取り組み>

1. 環境への取り組み

- ①斜里町及び羅臼町と協定を締結し、知床地域内に設置した全ての当社自動販売機の売上金の一部を協賛することで、知床世界自然遺産地域の環境保全活動を地域の皆様とともに推進しています。
- ②環境配慮企業を目指す当社札幌工場では、廃棄物を全てリサイクル処理する「ゼロエミッション」を2000年から継続しているほか、ボイラーの天然ガス化に早くから取り組んでいます。

2. 地域との取り組み

- ①北海道との協働の取り組みとして、2006年7月に「子どもの安全を見守る運動」を北海道にご提案し、官民一体となった道民運動を展開。
- ②2006年12月には、「災害時における飲料の供給等防災に関する協力協定」を締結し、災害時における飲料の提供はもとより、平常時から防災意識の高揚による地域防災力強化を図るさまざまな協力活動を実施。
- ③自治体、及び国土交通省北海道開発局との協定に基づいて、「道の駅」では、災害対応型自動販売機を利用して、道路利用者や地域住民に対して、道路情報や災害情報、地域のイベント情報を発信。
- ④安全・安心な街づくりを目指して、北海道警察との協働事業「防犯ほっとインフォメーション」2007年3月にスタート。自動販売機の電光掲示機能を活用して、警察署からの事件情報や防犯啓発に関する呼びかけなどの情報を発信。

コカ・コーラシステムでは、事業指針「Live Positively（世界をプラスに回そう）」を合言葉に企業としてだけでなく、社会とともに持続的に成長するため、私たちの事業領域である「市場」「環境」「社会」「職場」における活動の中で、様々な取り組みを推進しております。

そのひとつとしてコカ・コーラ独自のマネジメント「eKOシステム」を推進し、水、エネルギー、廃棄物における環境負荷低減のための管理・改善を進めています。

さらには（財）コカ・コーラ教育・環境財団を設立し、環境ボランティア活動の助成、支援を行うことで環境教育・環境保全活動の促進を目的に環境教育に関する活動が顕著である団体・個人を表彰しています。北海道からはこれまで7団体が最高賞を受賞しております。

当社は、「北の大地とともに」をスローガンに、責任ある企業市民として、北海道の魅力をさらに高める活動を、継続的に実行してまいります。これからも、次世代を担う子どもたちに、将来の地球の姿を考える場を提供することや、安全で安心な地域づくりを応援する取り組みを、地元企業として、事業活動を通して継続的に推進してまいります。

<本件に関するお問い合わせ先>

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 広報・CSR推進部 広報課

011-888-2091

「ジョージア サントスプレミアム」は1993年に発売して以来14年間、北海道の多くのお客様に親しまれている缶コーヒーのロングセラー商品です。世界最大のコーヒー生産国ブラジルの南東部で収穫され、サントス港から輸出されたサントス豆を100%使用して作られたコーヒーで香り豊かで深い味わいが楽しめます。

パッケージデザインは、北海道の豊かな自然を連想させる緑の葉をモチーフとし、前面には「私たちは北海道の自然保護活動を応援しています」のアイコンと、裏面には「ジョージアサントスプレミアム北海道デザイン缶の売上げの一部を、財団法人北海道環境財団に寄付し、北海道との協働事業に取り組んでおります。」と書き記すことで、購買する消費者への環境に対する意識向上の醸成に役立てます。

また、副原料の乳・砂糖は北海道産のもののみを使用し、北海道のイメージアップロゴタイプをパッケージにデザインするとともに、札幌商工会議所の「北のブランド2008」の認証を受け、北海道の観光や地産地消を応援しています。



<製品概要>

- 製品名： ジョージア サントスプレミアム 北海道限定デザイン缶
- 品名： コーヒー
- 原材料名： コーヒー、砂糖、全粉乳、香料、乳化剤
- カロリー： 32Kcal/100ml
- パッケージ/メーカー希望小売価格（消費税込）：190g缶/120円
- 販売地域： 北海道地域限定